



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月7日

上場会社名 株式会社エフテック 上場取引所 東  
 コード番号 7212 URL <https://www.ftech.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 祐一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 管理本部長 (氏名) 青木 啓之 (TEL) 0480-85-5211  
 半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 2024年12月2日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	145,810	4.7	△1,430	—	△2,965	—	△4,860	—
2024年3月期中間期	139,303	14.9	△1,290	—	△915	—	△516	—

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 △1,931百万円(—%) 2024年3月期中間期 4,799百万円(△44.7%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2025年3月期中間期	円 銭 △261.75	円 銭 —
2024年3月期中間期	円 銭 △27.78	円 銭 —

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期中間期	百万円 186,002	百万円 69,387	% 28.8
2024年3月期	百万円 191,772	百万円 71,742	% 29.1

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 53,587百万円 2024年3月期 55,825百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 20.00
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 10.00			
2025年3月期(予想)			円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	302,000	1.1	4,700	26.8	2,500	△16.7	600	△64.4	32.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	18,712,244株	2024年3月期	18,712,244株
2025年3月期中間期	144,421株	2024年3月期	144,371株
2025年3月期中間期	18,567,867株	2024年3月期中間期	18,583,890株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

- (注) 1. 期末自己株式には、「役員向け株式給付信託」により当該信託が保有する当社株式(2025年3月期中間期 110,500株、2024年3月期 110,500株)を加算しております。
2. 期中平均株式は、自己名義所有株式を控除する他、「役員向け株式給付信託」により当該信託が保有する当社株式(2025年3月期中間期 110,500株 2024年3月期中間期 94,483株)を控除して算定しております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる仮定等につきましては、添付2ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会について)

2024年11月8日開催予定のアナリスト向け決算説明会にて使用する決算説明会資料は、開始時間に合わせまして当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 中間連結貸借対照表 .....	3
(2) 中間連結損益及び包括利益計算書 .....	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、長期化するウクライナ紛争や中東地域の緊張の高まり、資源・エネルギー価格の高止まりに加えて、中国経済の減速等、先行きは極めて不透明な状況が続きました。自動車業界においては、生産活動は正常化しましたが、原材料費等の高止まりや労務費上昇が生産コストを押し上げました。電動化に向けた動きは、中国などの新興国で急速に進んでおり、中国系の新興EVメーカーがガソリン車のシェアを奪う形で台頭し、日・欧米系メーカーが生産体制を縮小する動きが相次ぎました。一方、欧米では需要が鈍化して主要自動車メーカーが戦略の見直しに動いたほか、中国製EVに追加関税を課すなど、普及が一段と停滞する兆しも出てきております。

こうした事業環境下、当社グループは、2023年4月より第15次中期経営計画をスタートさせました。「稼ぐ力を向上させ持続的に成長し社会に貢献する」を合言葉に、「Back to Basics」と「Challenge for New」の基本方針に沿い、「モノづくりの本質追求」、「得意先に対する新たな価値の提供」に全社一丸となって取り組みました。米国などの課題拠点に対しては各地からエキスパートを派遣して生産効率改善等をサポートするとともに、各種コストの負担増について価格転嫁の交渉を進めました。また、中国地域では得意先の生産台数減少へ適切に対応するための施策の検討を開始しております。

こうした活動のもと、当中間連結会計期間の業績は、売上高は145,810百万円(前年同期比4.7%増)、営業損失は1,430百万円(前年同期は営業損失1,290百万円)、経常損失は2,965百万円(前年同期は経常損失915百万円)、親会社株主に帰属する中間純損失は4,860百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失516百万円)となりました。

(日本)

主要得意先の生産台数が増加傾向にあること、新規得意先からの受注製品の量産効果等により、売上高は14,355百万円(前年同期比3.9%増)となりましたが、損益面は北米のターンアラウンドに向けたコンサルティング費用の計上や国内子会社の業績下振れにより、営業損失は360百万円(前年同期は営業利益372百万円)となりました。

(北米)

主要得意先の生産台数が堅調に推移したことや為替の円安影響等により、売上高は109,052百万円(前年同期比12.4%増)となりました。損益面は、新規受注製品の量産効果や生産体質の改善等により前年同期比で大幅な増益となりましたが、各種コスト増の価格転嫁を交渉中であり、営業損失は339百万円(前年同期は営業損失1,486百万円)となりました。

(アジア)

主要得意先の生産台数は中国地域において減産が続いており、売上高は22,401百万円(前年同期比21.4%減)、営業損失は780百万円(前年同期は営業損失173百万円)となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、現金及び預金、商品及び製品は増加しましたが、受取手形及び売掛金、機械装置及び運搬具の減少により、前連結会計年度末に比べ5,769百万円減少し、186,002百万円となりました。

負債は、長期借入金が増加しましたが支払手形及び買掛金、短期借入金の減少により、前連結会計年度末に比べ3,414百万円減少し、116,615百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定は増加しましたが、利益剰余金の減少により、前連結会計年度末に比べ2,355百万円減少し、69,387百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月14日の「2024年3月期 決算短信(連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,204	15,837
受取手形及び売掛金	41,921	32,384
商品及び製品	4,423	6,233
仕掛品	7,623	7,471
原材料及び貯蔵品	13,438	14,086
その他	3,502	3,179
貸倒引当金	△44	△46
流動資産合計	83,069	79,146
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,735	21,675
機械装置及び運搬具(純額)	50,507	48,410
建設仮勘定	7,171	7,514
その他(純額)	14,618	14,709
有形固定資産合計	94,033	92,310
無形固定資産	319	321
投資その他の資産		
投資有価証券	9,485	9,300
その他	4,864	4,924
投資その他の資産合計	14,350	14,225
固定資産合計	108,702	106,856
資産合計	191,772	186,002
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,902	25,012
短期借入金	38,537	36,490
1年内返済予定の長期借入金	12,782	11,619
未払法人税等	769	333
役員賞与引当金	49	31
その他	12,012	12,262
流動負債合計	92,053	85,749
固定負債		
長期借入金	22,043	25,304
役員退職慰労引当金	56	53
退職給付に係る負債	956	1,022
負ののれん	28	25
その他	4,891	4,459
固定負債合計	27,975	30,865
負債合計	120,029	116,615

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,790	6,790
資本剰余金	6,404	6,404
利益剰余金	29,288	24,241
自己株式	△79	△79
株主資本合計	42,404	37,356
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,154	784
繰延ヘッジ損益	237	280
為替換算調整勘定	11,937	15,070
退職給付に係る調整累計額	92	95
その他の包括利益累計額合計	13,421	16,230
非支配株主持分	15,916	15,800
純資産合計	71,742	69,387
負債純資産合計	191,772	186,002

## (2) 中間連結損益及び包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	139,303	145,810
売上原価	131,589	137,716
売上総利益	7,714	8,093
販売費及び一般管理費	9,005	9,523
営業損失(△)	△1,290	△1,430
営業外収益		
受取利息	58	81
受取配当金	31	58
持分法による投資利益	287	65
為替差益	1,237	—
その他	167	185
営業外収益合計	1,782	391
営業外費用		
支払利息	1,276	1,462
為替差損	—	438
その他	131	26
営業外費用合計	1,407	1,926
経常損失(△)	△915	△2,965
特別利益		
持分変動利益	157	—
固定資産売却益	6	15
特別利益合計	163	15
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	10	24
特別損失合計	12	24
税金等調整前中間純損失(△)	△764	△2,974
法人税、住民税及び事業税	1,392	1,756
法人税等調整額	△1,275	328
法人税等合計	117	2,085
中間純損失(△)	△881	△5,059
(内訳)		
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△516	△4,860
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△365	△199
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	467	△346
繰延ヘッジ損益	60	43
為替換算調整勘定	4,940	3,165
退職給付に係る調整額	6	3
持分法適用会社に対する持分相当額	206	261
その他の包括利益合計	5,681	3,127
中間包括利益	4,799	△1,931
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,980	△2,051
非支配株主に係る中間包括利益	818	120

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純損失(△)	△764	△2,974
減価償却費	7,064	7,494
持分変動損益(△は益)	△157	—
のれん償却額	△2	△2
退職給付に係る資産・負債の増減額	31	34
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	△2
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△52	△17
受取利息及び受取配当金	△89	△140
支払利息	1,276	1,462
為替差損益(△は益)	△801	297
持分法による投資損益(△は益)	△287	△65
有形固定資産売却損益(△は益)	△4	△15
有形固定資産除却損	10	24
売上債権の増減額(△は増加)	1,147	10,230
棚卸資産の増減額(△は増加)	△591	△2,481
仕入債務の増減額(△は減少)	3,894	△2,893
契約負債の増減額(△は減少)	355	494
未収入金の増減額(△は増加)	△226	946
その他	1,526	△1,091
小計	12,331	11,299
利息及び配当金の受取額	132	197
利息の支払額	△1,305	△1,503
法人税等の支払額	△1,906	△2,266
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,251	7,726
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,515	△4,027
有形固定資産の売却による収入	108	220
無形固定資産の取得による支出	△35	△22
投資有価証券の取得による支出	△23	△42
その他	△52	52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,517	△3,818
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,375	△1,023
長期借入れによる収入	3,200	7,800
長期借入金の返済による支出	△6,656	△7,147
自己株式の取得による支出	△18	△0
配当金の支払額	△187	△187
非支配株主への配当金の支払額	△306	△236
リース債務の返済による支出	△532	△313
その他	—	55
財務活動によるキャッシュ・フロー	874	△1,052
現金及び現金同等物に係る換算差額	413	778
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,021	3,633
現金及び現金同等物の期首残高	5,491	12,204
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,512	15,837

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社における中間連結財務諸表の税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	北米	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	13,816	97,004	28,483	139,303
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,528	774	1,350	6,653
計	18,345	97,778	29,834	145,957
セグメント利益又は損失(△)	372	△1,486	△173	△1,287

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,287
セグメント間取引消去	△3
中間連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△1,290

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	北米	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	14,355	109,052	22,401	145,810
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,001	725	1,525	8,252
計	20,357	109,777	23,926	154,062
セグメント損失(△)	△360	△339	△780	△1,480

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,480
セグメント間取引消去	50
中間連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△1,430

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。